

市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われているのか、市の財政状況がどのような状況にあるのかをお知らせするため、財政事情を公表します。

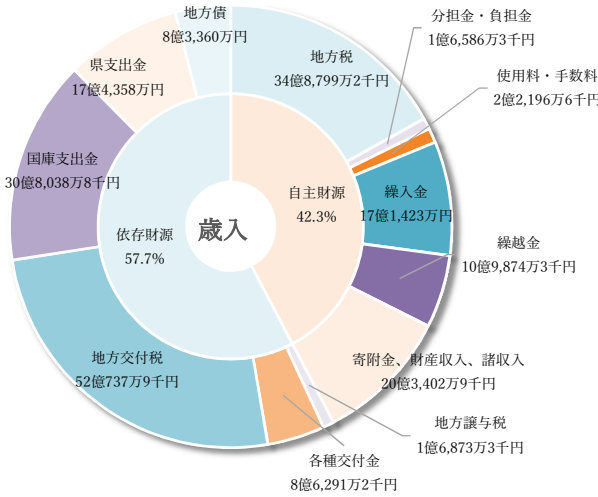
令和4年度 決算の状況

一般会計歳入：206億1,941万5千円 対前年度比：10億6,523万6千円増加

【歳入】 寄附金など自主財源が4割

令和4年度の決算は、前年度と比較して増加しました。ふるさと納税指定寄附金の増加や、林道災害復旧事業に対する県補助金の増加などにより、自主財源比率は42.3%（前年度比+3.2ポイント）となりました。

今後も、地方交付税の大幅な伸び等は期待できず、厳しい財政状況が予想されます。自主財源の確保と、歳入に見合った歳出規模を基本とすることが重要になります。



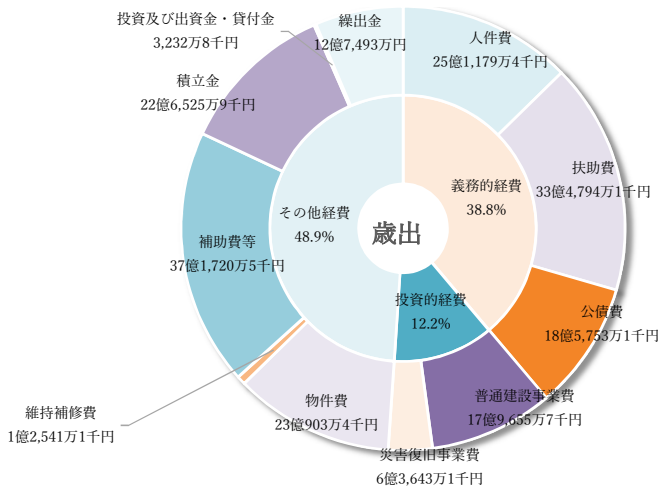
【用語解説】

- 自主財源**…市が自主的に調達できる収入
- 依存財源**…国、県から交付される財源や地方債のこと
- 地方交付税**…全国すべての市町村が等しく行政サービスを提供できるように国から交付されるもの
- 地方債**…市が財政上必要とする資金を外部から借入れるもの
- 国庫・県支出金**…特定の事業に対する国・県からの補助金など
- 繰入金**…これまで積み立てた基金などから繰り入れる財源

一般会計歳出：198億7,442万1千円 対前年度比：14億1,900万7千円増加

【歳出】 投資的経費、積立金の増加

「投資的経費」が対前年度比65.1%の増加、「積立金」が対前年度比17.6%増加し、全体としては7.7%の増加となりました。公営住宅建替基本計画に基づく本郷団地の建替工事に着手したことなどにより、普通建設事業費が前年度比で51.8%増加しました。また、令和3年及び令和4年に発生した災害の復旧事業費が前年度比119.0%の増加となりました。積立金の増加は、ふるさと納税指定寄附金の増加に伴うものです。今後は道路橋梁や各施設の老朽化対策などにかかる費用の増加が見込まれます。



【用語解説】

- 義務的経費**…支出が義務づけられ毎年支出しなくてはならない経費
- 投資的経費**…普通建設事業費や災害復旧事業費など社会資本の整備にかかる経費
- 扶助費**…社会保障制度の一環として生活困窮者や身体障がい者などにその生活を維持するために支出される経費
- 補助費等**…市から他の地方公共団体などに、行政上の目的で交付する経費
- 普通建設事業費**…道路、橋梁、学校など公共施設の建設事業にかかる経費

特別会計等決算の状況

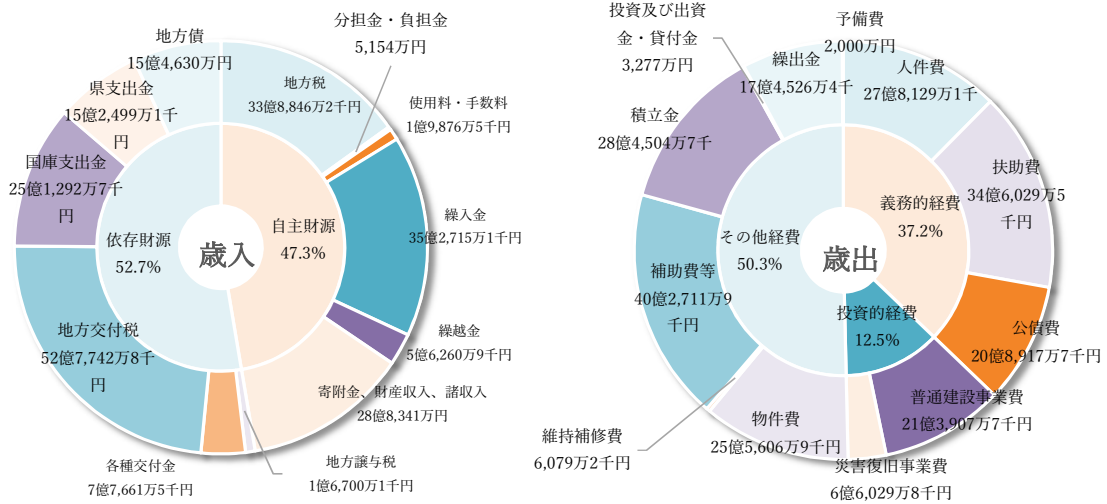
区分	令和4年度決算額	
	歳入	歳出
国民健康保険事業特別会計	38億8,185万3千円	38億4,708万7千円
国民健康保険診療所特別会計	1億375万2千円	9,287万5千円
簡易水道特別会計	932万8千円	924万9千円
後期高齢者医療特別会計	5億1,815万円	5億480万4千円

下水道事業会計	令和4年度決算額	
	収入	支出
収益的収支	10億2,768万5千円	8億9,276万3千円
資本的収支	13億2,047万9千円	16億249万7千円

特別会計とは、国民健康保険税などの特定の収入で事業の支出が賄われている会計で、令和4年度未現在で4会計あります。
なお、下水道事業については令和2年度より地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計として一般会計等と区別して経理することとなりました。

令和5年度 予算の状況 (9月定例議会後)

一般会計予算総額：224億1,719万9千円



令和5年度 一般会計の主な事業

【ハード事業】	【ソフト事業】
・仁比山保育園空調設備改修事業	・私立・管外保育所等運営事業
・就学前教育・保育施設整備事業	・障害者自立支援給付事業
・さが園芸888整備支援事業	・子ども及び小・中学生、高校生等医療費助成事業
・本堀団地建替事業	・予防接種事業
・姉団建替事業	・出産・子育て応援交付金事業
・旧庁舎跡地整備事業	・新型コロナウイルスワクチン接種事業
・道路橋梁新設改良事業	・小・中学校教育ICT振興事業
・小学校施設環境改善質の整備事業	・学校給食費助成事業
5,836万円	8億5,273万円
2億2,330万円	9億5,531万円
1億609万円	1億3,971万円
6億2,911万円	9,866万円
6,759万円	2,480万円
2,669万円	1億912万円
2億3,016万円	6,381万円
2億7,115万円	4,961万円

特別会計等の状況

区分	令和5年度予算額	令和5年度予算額	
		収入	支出
国民健康保険事業特別会計	39億785万3千円	10億5,808万3千円	9億7,047万3千円
国民健康保険診療所特別会計	1億1,501万9千円		
簡易水道特別会計	857万円		
後期高齢者医療特別会計	5億5,104万5千円	11億5,731万円	14億7,034万9千円

基金（貯金）の状況

区分	当初	補正	補正後
一般会計	70億4,513万3千円	1億9,129万4千円	72億3,642万7千円
特別会計	1億6,657万4千円	285万4千円	1億6,942万8千円
合計	72億1,170万7千円	1億9,414万8千円	74億585万5千円

市民一人あたりの基金残高・・・約24万円

地方債（借金）の状況

区分	当初	補正	補正後
一般会計	182億6,769万7千円	1億1,150万円	183億7,919万7千円
特別会計	3億2,799万7千円	-	3億2,799万7千円
合計	185億9,569万4千円	1億1,150万円	187億719万4千円

市民一人あたりの地方債残高・・・約61万円

※地方債残高には、合併特例事業債や過疎対策事業債など地方交付税で後年度財源措置される分が約7割見込まれ、実質的な市の負担は約3割となります。今後も有効かつ効果的な地方債（市債）を活用した財政運営に努めます。

実質的には市民一人あたり 約18万円